# 長久手市行政評価票

| 事業番号 | 3 | 事業の名称 | 公共交通利用促進事業 | 担当部署 | 部 | 課 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 行政経営部 | 経営管理課 |

| 基本方針 | (2)リニモでにぎわい交流するまち | 分野別項目 | (6)快適で便利な交通移動を確保する | 施策の進め方 | (3)交通の円滑化 | フラッグ | | フラッグ項目 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

総合計画体系

新しいまちづくり行程表

| | |
|---|---|
| 事業の概要 | 長久手市地域公共交通会議にて、利用実績、乗降調査などを調査・検討し、利便性の高い地域公共交通の展開を図る。また、愛知県とリニモ沿線自治体が共同でリニモを使ったイベントを実施したり、リニモウォーキングを実施することで交通手段としての市民目線による公共交通に関するかわら版(タイトル、市民協力者(執筆者)を公募)を発行することで親しみのある公共交通への醸成を図る。また、住民団体の地域づくり活動への支援をすることで、リニモ沿線の活性化を図る。 |
| 他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載) | 他の市町においても、公共交通会議等を設け、公共交通の利用促進・利用者の利便性向上を図るとともに、コミュニティバスを導入・拡充している自治体とで広域的な連携を図る市もある。また、民間路線の[illegible]ニティバスを導入・拡充している自治体もある。 |

| 事業期間 | 事業開始年度 | 平成18年度 | 終了(予定)年度 | — |
|---|---|---|---|---|
| 事業の対象(だれ、何に対して) | 市内外の住民 | | | |
| 事業の意図(対象をどのような状態にしたいか) | 移動手段を車から公共交通に、普段公共交通を利用しない人が利用するような意識の醸成、利便性の高い公共交通体系の展開。 | | | |

| 総事業費(単位:千円) | | H25予算 | H25決算 | H26予算 | H26決算 | H27予算 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 総事業費 | | 5,714 | 5,591 | 4,852 | 4,603 | 4,172 |
| うち | 一般財源 | 5,714 | 5,591 | 4,852 | 4,603 | 4,172 |
| | 国費・県費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 受益者負担額 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 評価の見方 | |
|---|---|
| A | 現行どおり実施 |
| B | 事業の改善 |
| C | 他事業と統合 |
| D | 運営主体の見直し |
| E | 事業の廃止の検討 |

| | 事業を構成する事務事業 | 目的 対象(だれ、何に対して) | 目的 手段(いつ、どのような手段を使って) 4月～ 7月～ 10月～ 1月～ | 目的 意図(対象をどのような状態にしたいか) | 事務事業の実施結果 | 成果 成果指標 | 成果 H25実績 / H26実績 / H26目標値 | 単位 | 成果指標の目標値設定の根拠 | 事業費(単位:千円) H25予算 / H26予算 / H27予算 | 事業費 H25決算 / H26決算 | H26決算の主な内訳(単位:千円) | 評価 評価 / 事業規模 / 事業費 | 評価の説明 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 地域公共交通会議運営事業 | 市内外の住民に | 地域公共交通総合連携計画に定めた実施事業などに関して、会議の事業計画に基づき、円滑に協議や助言、審議、承認を行うことで | 計画事業や関連の各実施事業を推進して、利便性の高い市内公共交通機関のネットワークを構築する。 | 会議を4回開催し、N-バス運行経費補助申請手続きやかわら版を発行 | ①会議で策定する年度事業計画に基づく会議運営<br>②連携計画事業の実施・着手数(累計)<br>③公共交通利用者数(市内駅・バス停) | -<br>①事業計画どおり実施 ②10事業／11事業 ③24,481人/日<br>①事業計画どおり実施 ②11事業／11事業 ③21,109人/日 | 人 | ①事業計画に基づき円滑な会議運営が図られているか<br>②連携計画の推進組織としての進行管理成果<br>③連携計画の目標値(前年度比増加) | 5,089<br>4,227<br>3,547 | 4,966<br>3,978 | 会議運営費3,781千円<br>委員報酬197千円 | B<br>維持<br>削減 | 平成26年度は長久手市第2次地域公共交通総合連携計画を策定し、公共交通シンポジウムを開催した。また、継続して公共交通かわら版「のりゃあせ」を発行しました。連携計画事業の実施・着手数について目標を達成できなかったため、B評価事業の改善とした。 |
| ② | リニモ夏休みイベント開催事業 | 市内外の住民に | 夏休みに、リニモとリニモ沿線の施設を活用した中学生以下向けイベント(27回:各定員80～100人)を開催することで | イベントに参加してもらい、その後もリニモを使用して沿線施設を利用してもらう。 | 28回開催延べ参加者数2,283人 | 7～8月リニモ利用者数 | 1,077<br>1,074<br>1,109 | 千人 | リニモ利用者数前年同時期実績(7～8月)から3%の増加(過去3年間の伸び率から設定。) | 500<br>500<br>500 | 500<br>500 | 負担金500千円(愛知県、名古屋市、瀬戸市、豊田市、日進市で構成する東部丘陵線連絡協議会全体事業費6,700千円) | B<br>拡充<br>維持 | 目標値にも前年実績にも達していない。今後も参加者アンケートなどを参考に、内容改善を図ったり、体験型イベントを増やすなど、参加者により満足していただけるイベントを目指し、継続して事業を実施する。 |
| ③ | リニモウォーキング開催事業 | 市内外の住民に | 年13回リニモの駅等を発着地とするウォーキングを開催することで | 魅力あるリニモ沿線施設をPRし、交通手段としてのリニモを知り、利用してもらう。 | 14回開催延参加者数16,800人 | ウォーキング参加者数(1回あたり) | 1,238<br>1,200<br>1,238 | 人 | 前年度実績を目標とした。 | －<br>－<br>－ | －<br>－ | | B<br>維持<br>維持 | 前年に比べ、1回当たりの参加者数が減少している。そのため、リニモ沿線で開催されるイベントと協力したり、他事業者のウォーキングイベントと開催が重ならないような日程調整など、事業費をかけない方法で改善を行う。 |
| ④ | リニモ沿線地域づくり活動促進事業 | 市内外の住民に | 地域住民や学生等による地域づくり活動によって | リニモを積極的に活用した沿線の地域づくりに取り組むことで、沿線の活性化を図る。 | 3件の事業を支援 | 採択後8月から3月までのリニモ利用者 | 4,398<br>4,391<br>4,617 | 千人 | リニモ利用者数前年同時期実績(8月～3月)から5%の増加(過去3年間の伸び率から設定。) | 125<br>125<br>125 | 125<br>125 | 負担金125千円(愛知県、瀬戸市、豊田市、日進市で構成するリニモ沿線地域づくり調査研究会　全体事業費2,000千円) | B<br>維持<br>維持 | 平成26年度は「ぽぷかる連携インタラクティブアートを通じたリニモ沿線活性化」、「Myリニモ&Myタウン」、「リニモは一日イングリッシュタウン！リニモでハロウィーン」の3事業を支援した。平成27年度は、リニモ沿線地域づくり構想の改定を進める。 |

| 事務事業の改善内容 | | 事務事業 | 改善内容(H27以降に実施する内容) |
|---|---|---|---|
| | ① | 地域公共交通会議運営事業 | 長久手市第2次地域公共交通総合連携計画で目標としている「みんなで育む公共交通」を進めるため、(仮称)公共交通応援隊を結成し、リニモ利用促進についての取組を行う。 |
| | ② | リニモ夏休みイベント開催事業 | 定員数の見直しや体験型イベントを増やすなどを検討する。 |
| | ③ | リニモウォーキング開催事業 | ウォーキングの利用者を増やすため、イベントやほかのウォーキングイベントとのコラボレーションを検討する。 |
| | ④ | リニモ沿線地域づくり活動支援事業 | リニモ沿線の地域づくりを広げるため、新規の事業を対象とする。ただし、平成27年度はリニモ沿線地域づくり構想の改定を行うため、支援は行わない。 |

| H27以降新規に実施する事務事業 | 事務事業 | 事業概要 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |